

2021

One solution for all your Microsoft 365
need

with 700+ reports & e-mail alerts



スタートアップガイド

ManageEngine 
M365 Manager Plus

2021年5月17日 発行 (第2版)

■著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■注意事項

本ガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。
ゾーホージャパン株式会社は本ガイドに関しての一切の責任を負いかねます。当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■商標一覧

*Oracle*と *Java* は、*Oracle Corporation* 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
Windows は、米国およびその他の国における米国 *Microsoft Corp.* の登録商標です。
ManageEngine は、*ZOHO Corporation Pvt.Ltd* 社の登録商標です。
なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

1. はじめに.....	3
1-1 本ガイドについて.....	3
1-2 対象読者.....	3
1-3 本ガイドの見方.....	3
1-4 M365 Manager Plus 製品使用上の注意点.....	3
2. 主な機能と特徴概要.....	4
2-1 ライセンスについて.....	4
2-2 無料版と Professional 版の機能差異.....	4
評価版(無料版)から Professional 版に切り替える方法.....	5
3. インストール.....	6
3-1 システム要件.....	6
サポート OS.....	6
サポートする Web ブラウザ.....	6
前提条件.....	6
3-2 インストール手順.....	7
4. 起動と停止.....	12
4-1 アプリケーションとしての起動/停止.....	12
M365 Manager Plus の起動方法.....	12
M365 Manager Plus の停止方法.....	12
4-2 Windows サービスとしての起動/停止.....	13
M365 Manager Plus サービスのインストール方法.....	13
M365 Manager Plus サービスの起動方法.....	13
M365 Manager Plus サービスの停止方法.....	14
5. Web コンソールへのアクセス.....	15
6. Microsoft 365 テナントの設定.....	16
7. ライセンス管理.....	17
ライセンス登録状況の確認方法.....	17
管理するユーザーの確認/変更方法.....	17
8. 自動アップデート.....	18
9. トラブルシューティングとヒント.....	19
テナントの認証情報を入力した際にエラーが表示される場合.....	19
一部レポートが正しく表示されない場合.....	19

1. はじめに

1-1 本ガイドについて

本ガイドでは M365 Manager Plus のインストール方法から初期設定の内容について説明しています。また、本ガイドは 旧製品名 O365 Manager Plus ビルド 4306 を元に作成しています。

1-2 対象読者

本ガイドは、導入に関するシステム管理者を対象としています。

1-3 本ガイドの見方

本ガイドでは、文字の書体を次のように区別して記載しています。

表 1 文字の書体について

字体または記号	説明	例
'AaBbCc123'	ファイル名、ディレクトリ名、画面上の出力を表示します	'ManageEngine_ADAudit_Plus_x64.exe'を管理者権限にて実行します
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピューター出力と区別して示します。	アドレスバーに http://host_name:port_number を入力します
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名称または値で置き換えます。	インストールしたディレクトリを <i>O365 Manager Plus_Home</i> とし、説明を行います。
[AaBbCc123]	ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	[ファイル監査]タブ

1-4 M365 Manager Plus 製品使用上の注意点

M365 Manager Plus では以下のポートを使用します。利用時にはポートが使用できる状態にしてください。

表 2 サーバー使用ポート

通信方向	TCP/UDP	ポート番号	解説
inbound	TCP	#8365	M365 Manager Plus がインストールされているサーバー以外から Web コンソール画面にアクセスする場合 (Non-SSL) ※ポート番号変更可能
inbound	TCP	#9365	M365 Manager Plus がインストールされているサーバー以外から Web コンソール画面にアクセスする場合 (SSL) ※ポート番号変更可能
outbound	TCP	#443 #80	HTTPS (MSol)
outbound	TCP	#5985 #5986	HTTP (Exchange Online)

2. 主な機能と特徴概要

2-1 ライセンスについて

M365 Manager Plus で提供しているライセンス体系の特徴は以下の通りです。

表 3 年間ライセンスの特徴

種類	特徴
年間ライセンス	<ul style="list-style-type: none">■ 1年間利用可能な製品ライセンスで、年間保守サポートサービスが含まれている■ 1年ごとに年間ライセンス契約を更新する

※M365 Manager Plus は 30 日間無料でフル機能を試用可能な評価版を提供しています。またライセンスのご購入がない状態で 30 日が経過すると、自動的に無料版へ移行します。

2-2 無料版と Professional 版の機能差異

表 4 無料版と Professional 版の比較

機能	無料版	Professional 版
Microsoft 365 レポート	○	○
Microsoft 365 管理	○	○
パスワード期限切れ通知	○	○
ヘルプデスク委任	○	○
Microsoft 365 監査およびアラート	×	○
Microsoft 365 監視	×	○
Microsoft 365 コンテンツ検索	×	○



NOTE

無料版の場合、管理可能なユーザー数は **25 ユーザー** に制限されます。

- 1) M365 Manager Plus 画面の右上にある[ライセンス]をクリックすると、ライセンス情報ページが表示されます。



図 1 ライセンス画面

- 2) [参照する]をクリックして、購入したライセンスファイルを選択します。
- 3) [アップグレード]をクリックすると、ライセンスが適用されます。

3. インストール

3-1 システム要件

M365 Manager Plus は.exe 形式で配布されています。また Windows の 64bit に対応しており、以下の推奨システム要件を満たした任意のサーバーへインストールすることが可能です。

- * CPU : Pentium 4 プロセッサー 3.0 GHz 以上
- * メモリ : 4GB 以上
- * ハードディスク : 20GB 以上

サポート OS

M365 Manager Plus は、下記バージョンの Windows OS にインストールすることができます。

- * Windows 8 (8.1) / 10
- * Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 / 2019 (64bit)

サポートする Web ブラウザ

M365 Manager Plus は、以下の Web ブラウザから閲覧することができます。

- * Microsoft Edge
 - * Firefox 40 以上
 - * Chrome 45 以上
- ※ JavaScript の実行を許可してください。

前提条件

Microsoft 365 アカウントを設定するためには、以下の条件を満たす必要があります。

- * 使用環境にてインターネット接続が可能であること。
- * Windows 7 SP1、もしくは Windows 2008 R2 SP1 に製品をインストールされる場合は、Microsoft.NET バージョン 4 および PowerShell バージョン 3 が同環境にインストールされていること。
- Microsoft.NET フレームワークのバージョンを確認するには、管理者権限でコマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを実行してください。

```
reg query "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE \Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\full" /v version
```

実行後に表示されたバージョンをご確認ください。バージョン 4 ではなかった場合は、[こちら](#)よりダウンロードが可能です。

- PowerShell のバージョンを確認するには、PowerShell 上で以下のコマンドを実行してください。

```
$PSVersionTable
```

実行後に表示されたバージョンをご確認ください。バージョン 4 ではなかった場合は、[こちら](#)よりダウンロードが可能です。

* 以下のモジュールがインストールされていること。

・ **Microsoft Online Service Sign-in Assistant for IT Professionals RTW**

Windows サービス画面に「Microsoft Online Services Sign-in Assistant」が存在するかをご確認ください。存在しない場合は、[こちら](#)よりモジュールのダウンロードが可能です。

・ **Windows Azure Active Directory Module for Windows PowerShell (64bit 版)**

PowerShell を開き、以下のコマンドを実行してください。

```
get-module -Name msonline
```

モジュールがインストールされていた場合は、モジュール名が表示されます。インストールされていない場合は、[こちら](#)よりモジュールのダウンロードが可能です。

3-2 インストール手順



NOTE

アンチウイルスソフトやバックアップツールなどをインストールしている場合は、**M365 Manager Plus をインストールしたフォルダーを必ずスキャン対象またはバックアップ対象から除外してください**。除外していない場合、スキャンまたはバックアップによってデータベースが破損する恐れがあります。また、リアルタイムスキャンを実施している場合は、スキャンが実行される際に M365 Manager Plus のパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。

- 1) 'ManageEngine_M365_Manager_Plus_Japanese.exe' を管理者権限にて実行します。
- 2) [実行]をクリックします。



図 2 警告画面

- 3) インストール画面が表示されるので[次へ]をクリックします。



図 3 インストール画面

- 4) ライセンス条項を承諾後、[はい]をクリックします。

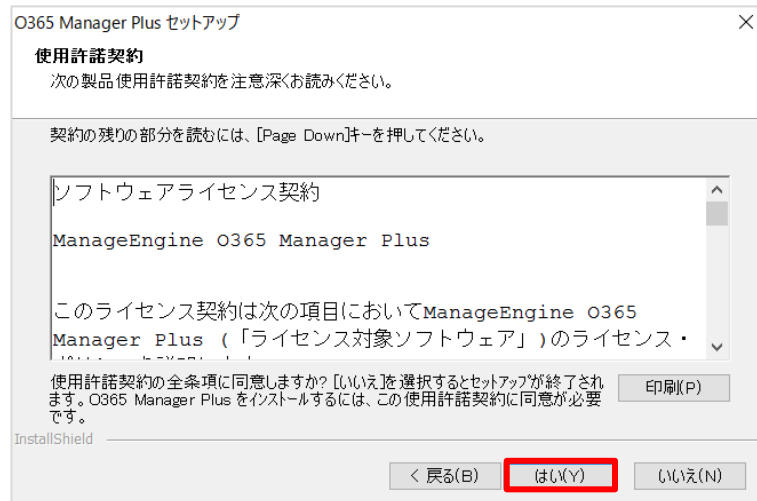


図 4 インストール画面

- 5) インストールディレクトリを選択します。デフォルトは 'C:\ManageEngine\M365 Manager Plus'です。

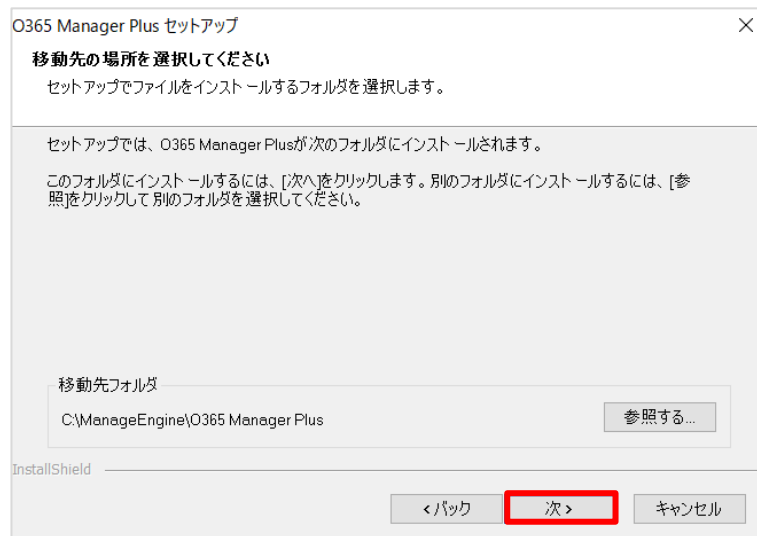


図 5 インストール画面

- 6) Web サーバーのポート番号を入力します。デフォルトでは、8365 です。

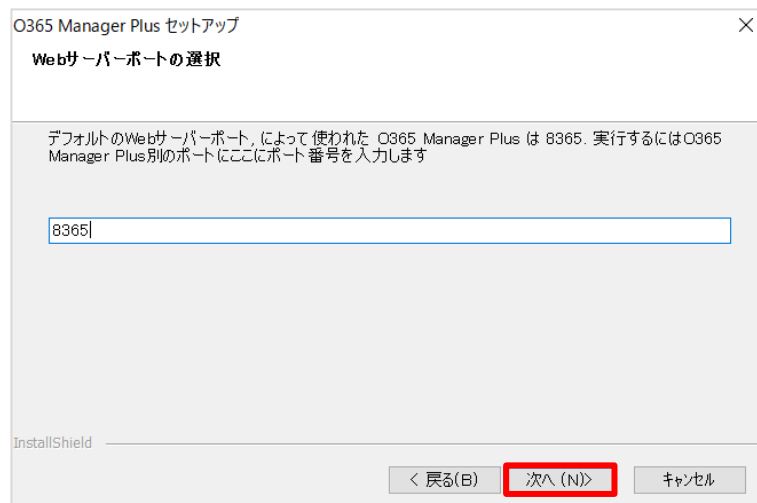


図 6 インストール画面

7) プログラムフォルダー名を入力し、[次へ]をクリックしてください。デフォルトでは、**M365 Manager Plus** です。

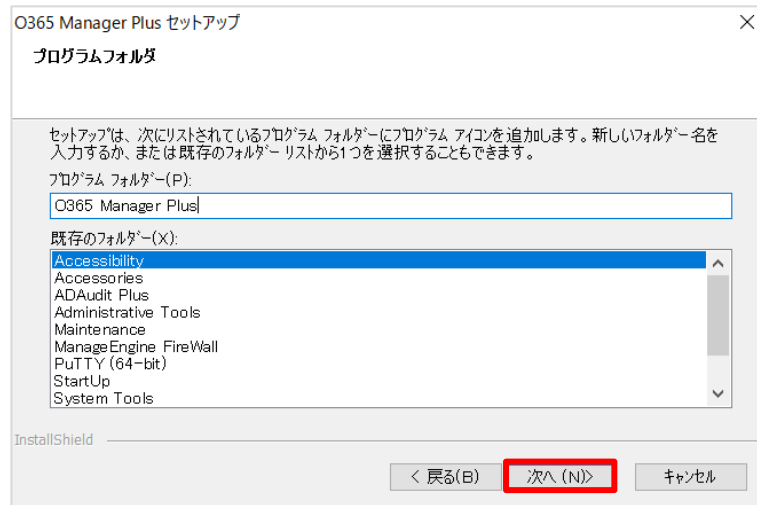


図 7 インストール画面

8) お客様情報を入力します。(任意)

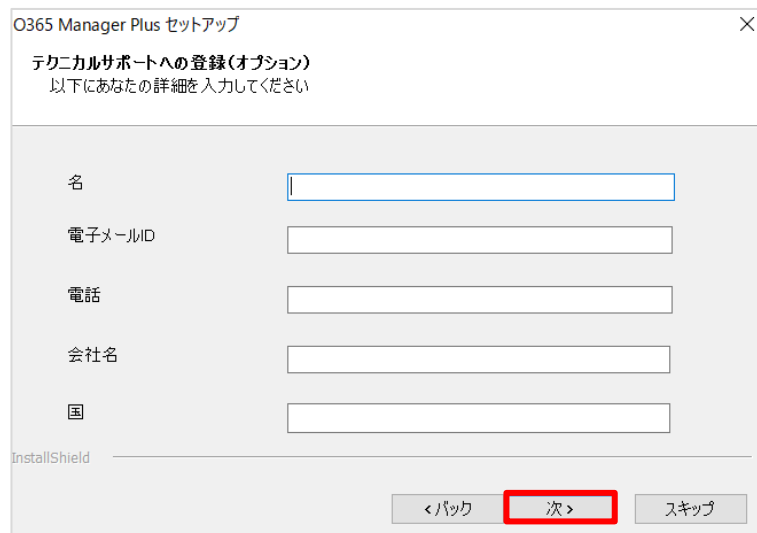


図 8 インストール画面

9) M365 Manager Plus をインストールするか選択を行います。

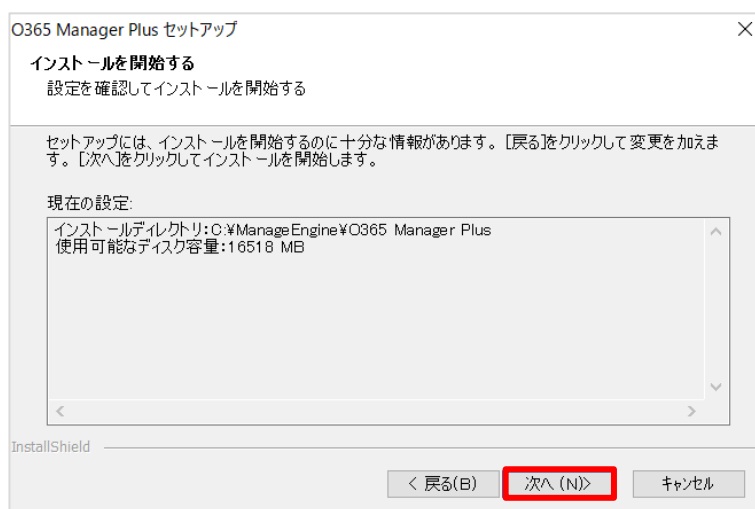


図 9 インストール画面

10) インストールの完了です。必要に応じてオプションを選択後、[フィニッシュ]をクリックします。

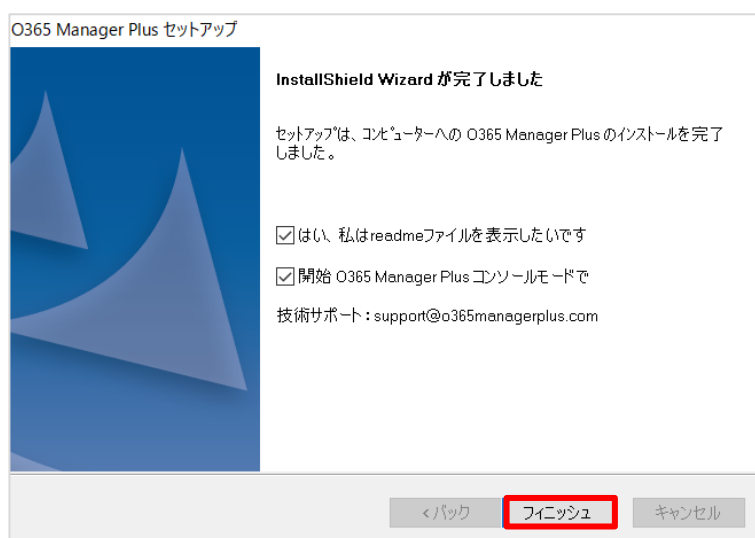


図 10 インストール画面

※各チェックボックスについて：

[はい、私は readme ファイルを表示したいです] -> リリースノート(英語版)が開きます。

[開始 M365 Manager Plus コンソールモードで] -> 終了後 M365 Manager Plus がアプリケーションとして起動します。

4. 起動と停止

M365 Manager Plus には、「アプリケーションとして起動」と「Windows サービスとして起動」の 2 通りの起動方法があります。それぞれの起動方法について、以下にご紹介します。

※「Windows サービスとして起動」を推奨していますが、お使いの環境に適した起動方法を選択することが可能です。

4-1 アプリケーションとしての起動/停止

M365 Manager Plus の起動方法

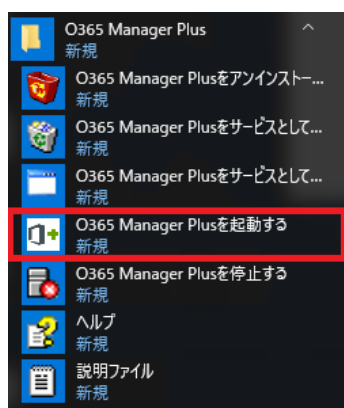


図 11 M365 Manager Plus の開始方法

M365 Manager Plus をアプリケーションとして開始するには、[スタート] → [M365 Manager Plus] → [M365 Manager Plus を起動する]を選択します。

M365 Manager Plus の停止方法

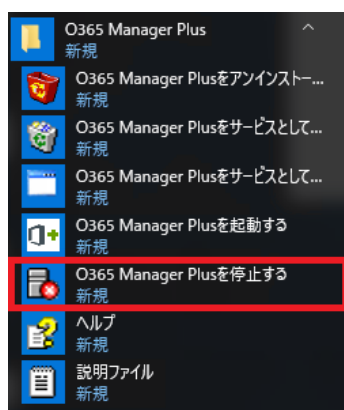


図 12 M365 Manager Plus の停止方法

M365 Manager Plus をアプリケーションとして停止するには、[スタート] → [M365 Manager Plus] → [M365 Manager Plus を停止する]を選択します。

4-2 Windows サービスとしての起動/停止

M365 Manager Plus サービスのインストール方法

- 1) スタートメニューをクリックします。
- 2) M365 Manager Plus の中にある[O365 Manager Plus をサービスとしてインストールする]をクリックします。
- 3) M365 Manager Plus がサービスに追加されます。

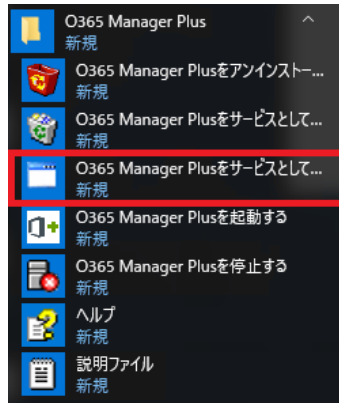


図 13 サービスのインストール画面



NOTE

※ コマンドプロンプトからサービスを追加する場合

- 1) コマンドプロンプトを管理者として実行します。
- 2) <M365 Manager Plus インストールフォルダー>¥bin フォルダに移動します。
- 3) 次のバッチファイルを実行します：InstallNTService.bat

M365 Manager Plus サービスの起動方法

Windows サービスとして起動する場合

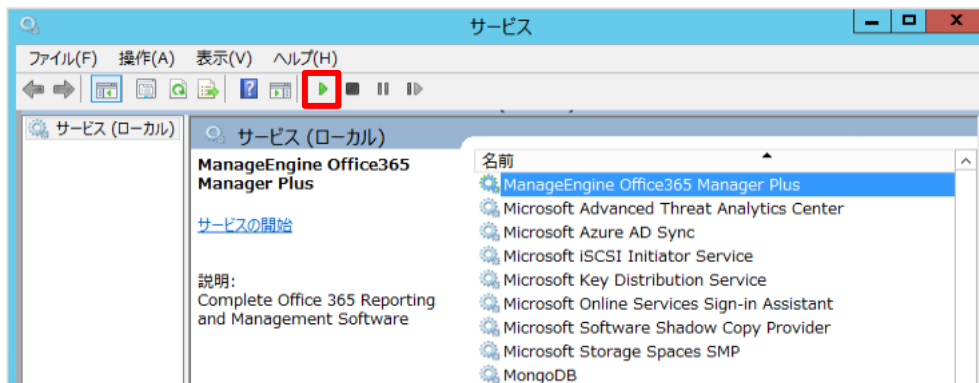



図 14 Windows サービスの開始画面

[スタート]→[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を開き、[ManageEngine M365 Manager Plus]を選択します。そして、  ボタンをクリックしてサービスを開始してください。




NOTE

Windows サービスへ登録すると、OS 起動にサービスが自動起動します。自動起動を有効化するため、サービス名をダブルクリックした際に表示されるプロパティ画面にて、「スタートアップの種類」が「自動」となっていることをご確認ください。

実行ファイルのパス:
"C:\ManageEngine\O365 Manager Plus_4306\O365 Manager Plus\bin#wrapper

スタートアップの種類(E):

M365 Manager Plus サービスの停止方法

[スタート]→[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を開き、[ManageEngine M365 Manager Plus]を選択します。そして、  ボタンをクリックしてサービスを停止してください。

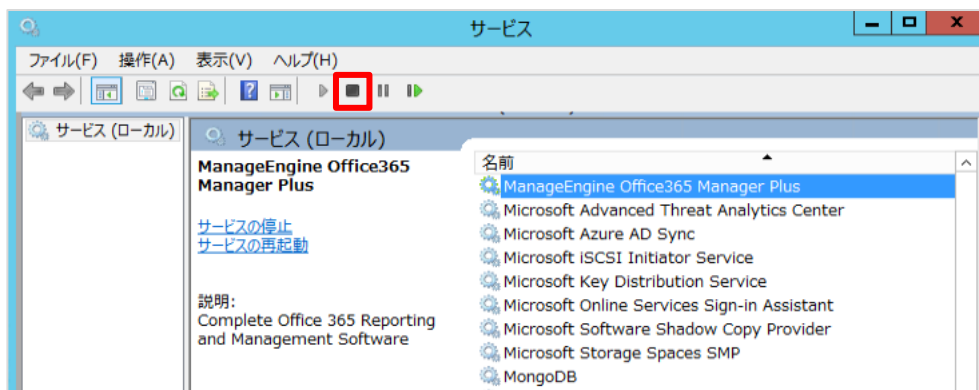


図 15 Windows サービスの停止画面

5. Web コンソールへのアクセス

- 1) JavaScript の実行を許可した状態で、Mozilla Firefox や Google Chrome などの Web ブラウザを起動します。
- 2) アドレスバーに **http://[host_name] : [port_number]** と入力します。
例 : http://admp-server:8365 (デフォルトのポート番号は 8365 です。)



NOTE

[**host_name**]は M365 Manager Plus が動作しているマシンのホスト名または IP アドレスを指し、[**port_number**]はインストール時に M365 Manager Plus の Web サーバーを動作させるポートとして指定した値を指します。
SSL を有効化する設定を行った場合は、アドレスバーに **https://[host_name]:[port_number]** と入力します。

管理者として M365 Manager Plus にログインするには、ユーザー名/パスワードに admin と入力して[ログイン]をクリックします。



図 16 M365 Manager Plus のログイン画面



NOTE

上記の方法でリモートマシン上の M365 Manager Plus にうまくアクセスできないときは、M365 Manager Plus がインストールされているマシン上の Web ブラウザから **http://localhost:8365** にアクセスできるかどうかをご確認ください。

6. Microsoft 365 テナントの設定

- 1) Microsoft 365 テナントが設定されていない場合（初回ログイン時）、下記画像のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

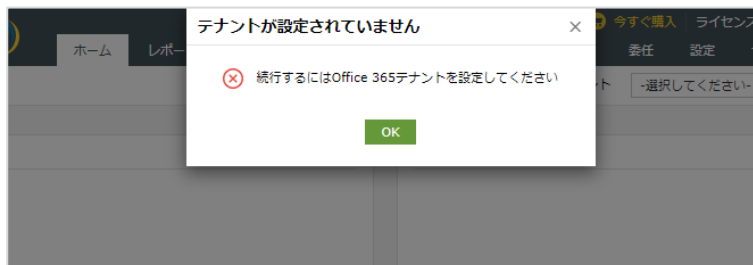


図 17 テナントの登録メッセージ

- 2) アカウント名/パスワードを入力し、[保存]をクリックします。
※グローバル管理者の権限をもつアカウント情報を入力します。



図 18 認証情報入力画面

- 3) テナントの追加に成功した場合、下記画像のようにテナント情報が登録されます。



アクション	Office 365のテナント	アカウント名	ドメイン	REST APIアクセス	MFA有効	状態
   	zohoJapan.onmicrosoft.com		5ドメイン	今すぐ有効にする	偽	成功, より詳しく

図 19 構成済みの Microsoft 365 テナント画面

7. ライセンス管理

M365 Manager Plus では、「管理するユーザー数」に基づきライセンスが消費されます。管理するユーザーを確認/変更する方法について、以下にご紹介します。

ライセンス登録状況の確認方法

- 1) 画面右上の[テナント設定]をクリックします。
- 2) [ライセンス管理]をクリックします。

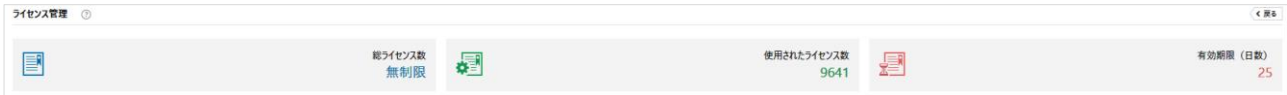


図 20 ライセンス管理画面

※各項目について：

[総ライセンス数] -> 管理可能なユーザー数の総数が表示されます。

[使用されたライセンス数] -> 使用されたライセンス数が表示されます。

[有効期限] -> ライセンスの有効期限が表示されます。

管理するユーザーの確認/変更方法

- 1) [ライセンス管理]の[管理対象のユーザー]に表示されている数字をクリックします。



図 21 管理対象のユーザー画面

- 2) 特定のユーザーを管理対象から除外する場合は、チェックを外して[OK]をクリックします。

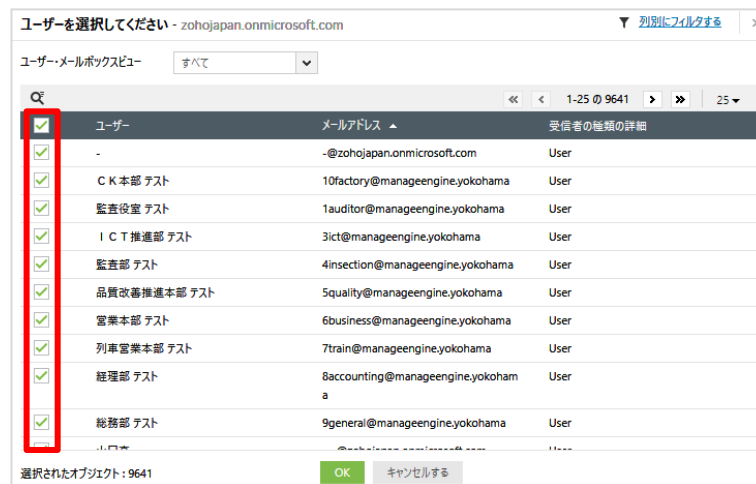


図 22 ユーザーの選択画面

- 3) すべてのユーザーをライセンス対象として登録/除外する場合は、テナント名をマウスオーバーした際に表示される [すべてを管理する](#) | [すべてを管理解除する](#) オプションを選択します。

8. 自動アップデート

M365 Manager Plus では、新しいビルドがリリースされた際に自動でアップデートを実施します。自動アップデートは、以下の流れで実施されます。



自動アップデートに関する設定状況の確認/変更方法について、以下にご紹介します。

- 1) [サポート]→[アップグレードを確認]をクリックします。
- 2) [設定]をクリックします。
- 3) 必要に応じてオプションの有効化/無効化を行います。

図 23 自動アップデートの設定画面

この画面は「ロボアップデート - 設定」ウィンドウで、タブ「自動アップデート」が選択されています。右側には「戻る」ボタンと「履歴」アイコンがあります。

設定項目は以下の通りです：

- 最新アップデートをチェックするには自動アップデートを有効化してください
- 更新頻度：毎日 [時刻] 00 時 00 分
- O365 Manager Plusを自動でダウンロードしてアップデートします
- アップデートが利用可能になったときに管理者にメールします
- 製品アップデート後に管理者にメールします

画面下部には「保存する」と「キャンセルする」ボタンがあります。

図 23 自動アップデートの設定画面

※各オプションについて：

[M365 Manager Plus を自動でダウンロードしてアップデートします] -> 新しいビルドがリリース時に自動でアップデートを行います。
[アップデートが利用可能になったときに管理者にメールします] -> 新しいビルドがリリースされた際に管理者へメール通知します。
[製品アップデート後に管理者にメールします] -> アップデートが完了後に管理者へメール通知します。

9. トラブルシューティングとヒント

テナントの認証情報を入力した際にエラーが表示される場合

- 入力した認証情報が正しいことをご確認ください。
- 指定したアカウントがロックされていないことをご確認ください。
- Office365ManagerPlusTroubleshoot.ps1 を実行してトラブルシューティングを実施してください。
 - 1) PowerShell を管理者として起動します。
 - 2) 以下のコマンドを実行します。

```
Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy RemoteSigned -Force -Scope process
```

- 3) <M365 Manager Plus のインストールフォルダー>¥bin フォルダへ移動します。
- 4) **Office365ManagerPlusTroubleshoot.ps1** を実行します。
- 5) テナント登録時に指定したアカウントの認証情報を入力します。
- 6) **Is Global Admin Account - False** と結果が返ってくる場合、指定したアカウントがグローバル管理者権限を保持しているかをご確認ください。

一部レポートが正しく表示されない場合

- 監査ログの検索が有効化されていることをご確認ください。
 - 1) 「Microsoft 365 セキュリティ/コンプライアンスセンター」で、[検索]→[監査ログの検索] に移動します。
 - 2) [ユーザーと管理者のアクティビティの記録を開始する] をクリックします。



前提として、各ユーザーのメールボックスに対してメールボックス監査ログが有効化されている必要があります。詳細については、Microsoft の公開サイト「[Microsoft 365 でメールボックスの監査を有効にする](#)」を参照してください。

図 24 監査ログの検索画面

本製品に関するお問い合わせ

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine&WebNMS 事業部

〒222-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 6 番 1 号 みなとみらいセンタービル 13 階

ホームページ：<https://www.manageengine.jp/>

0365 Manager Plus 製品ページ：https://www.manageengine.jp/products/0365_Manager_Plus/